平成22年第1回八千代町議会臨時会会議録（第1号）

平成22年2月26日（金曜日）午前9時17分開会

臨時議会の告示

八千代町告示第29号

平成22年第1回八千代町議会臨時会を次のとおり招集する。

平成22年2月22日

八千代町長 大久保 司

1. 期 日 平成22年2月26日
2. 場 所 八千代町議会議場
3. 付議事件
 - (1) 21. 川西小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結について
 - (2) 21. 安静小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結について
 - (3) 21. 西豊田小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結について

本日の出席議員

議長（4番）	生井 和巳君	副議長（2番）	上野 政男君
1番	大久保弘子君	3番	中山 勝三君
5番	相沢 政信君	6番	大久保 武君
7番	水垣 正弘君	8番	矢中 召二君
9番	小島 由久君	10番	稲葉 常美君
12番	宮本 直志君	13番	大久保敏夫君
14番	湯本 直君		

本日の欠席議員

11番 小竹 徳市君

説明のため出席をしたる者

町 長	大久保 司君	副 町 長	澤木 薫君
教 育 長	高橋 昇君	会 計 管 理 者	渡辺 常雄君
総 務 課 長	生井 光男君	企 画 財 政 課 長	風見 好信君
税 務 課 長	瀬崎 始君	町 民 課 長	浜名 進君
福祉保健課長	関 好太郎君	生 活 環 境 課 長	飯島 正男君
産業振興課長	青木 良夫君	都 市 建 設 課 長	稲村 信義君
上下水道課長	上野 林作君	農 業 委 員 会 事 務 局 長	水垣 進君
教 育 次 長 兼 学 校 教 育 課 長	斉藤 実君	公 民 館 長 兼 生 涯 学 習 課 長	飯島 英男君
給食センター 所 長	生井 勝巳君	秘 書 課 参 事	岡田 昭夫君
総 務 課 参 事	水書 正義君	企 画 財 政 課 長 兼 補 佐 係 長	鈴木 忠君

議会事務局の出席者

議会事務局長	猪瀬 誠	補 佐	外山 悦子
主 幹	岩坂 信幸		

議長（生井和巳君） 公私ご多用のところご参集をくださいます、まことにありがとうございます。

ただいまの出席議員数は13名であります。よって、定足数に達しておりますので、ただいまから平成22年第1回八千代町議会臨時会を開会いたします。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

（議長が了承を求めた議事日程は次のとおり）

議 事 日 程 （第1号）

平成22年2月26日（金）午前9時開議

開 会

議事日程報告

諸般の報告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第1号 21. 川西小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結について

日程第4 議案第2号 21. 安静小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結について

日程第5 議案第3号 21. 西豊田小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結について

日程第6 閉会中の継続調査の件

閉 会

諸般の報告

議長（生井和巳君） 諸般の報告をいたします。

例月出納検査の監査結果について、地方自治法第235条の2第3項の規定に基づき、監査委員から報告がありましたので、お手元に配付いたしましたから、後でご覧おき願います。

次に、地方自治法第121条の規定により、本臨時会に説明のため出席を求めた者、またその委任を受けた者は、町長、副町長、教育長、会計管理者並びに各課長、局長、所長でありますので、報告いたします。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第1 会議録署名議員の指名

議長（生井和巳君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、八千代町議会会議規則第120条の規定により、1番、大久保弘子議員、2番、上野政男議員、以上2名を指名いたします。

日程第2 会期の決定

議長（生井和巳君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

本臨時会の会期につきましては、議会運営委員会において検討していただいておりますので、その審議の経過と結果について委員長の報告を求めます。

水垣議会運営委員長。

（議会運営委員長 水垣正弘君登壇）

議会運営委員長（水垣正弘君） ただいま議長の指名がありましたので、議会運営委員会の審議の経過と結果についてご報告をいたします。

去る2月17日、執行部から副町長及び関係課長等の出席を求め、平成22年第1回八千代町議会臨時会の会期を審議する議会運営委員会を開催いたしました。関係課長等から提出議案の概要説明を受け、慎重審議の結果、本臨時会の会期を本日1日とすることに議会運営委員会としては決定いたしました次第であります。

何とぞ議員各位のご賛同を賜りますようお願いを申し上げます、報告を終わります。

議長（生井和巳君） ただいまの議会運営委員長の報告は、平成22年第1回八千代町議会臨時会の会期を本日1日とするものであります。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、委員長報告のとおり、本日1日とすることにしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） 異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は、本日1日とすることに決定いたしました。

日程第3 議案第1号 21. 川西小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結について

議長（生井和巳君） 日程第3、議案第1号 21. 川西小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結についてを議題といたします。

職員に議案を朗読させます。

（総務課参事 水書正義君朗読）

議長（生井和巳君） 本案について提案理由の説明を求めます。

町長。

（町長 大久保 司君登壇）

町長（大久保 司君） ただいま上程されました議案第1号 21. 川西小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結についての提案理由をご説明申し上げます。

学校教育施設につきましては、議会を初め関係機関の深いご理解とご協力によりまして、計画的に整備してまいりました。

川西小学校校舎は、昭和56年に建築された鉄筋コンクリートづくりの2,552平方メートルであります。建築後28年が経過しており、大規模改修等を一度も行っていないため損耗や機能低下が甚だしく、危険性も危惧されております。平成16年に耐震診断を実施したところ、補強が必要であるとの結果が出たため、平成17年度に実施計画を策定いたしました。しかし、国の事業採択が得られず先送りとなっしまい、改めて平成21年度、国の経済対策により安全・安心な学校づくり交付金及び公共投資臨時交付金の2つの財政支援制度が受けられることから、本工事を実施するため9月の定例会において補正予算を計上し、議決をいただいているところであります。

事業の内容は、耐震補強工事のほか、屋根改修、外壁改修、内部改修、電気及び設備改修であります。

当時の設計の見直し業務を平成21年6月に委託し、工事につきましては条件つき一般競争入札により1月29日に入札を行い、その結果、鈴縫・高島特定建設工事共同企業体が、消費税を加え2億7,300万円で落札いたしました。

工期につきましては、契約の日から平成22年3月31日までとしておりますが、県との協議により、平成22年度に繰り越して事業を実施する予定であります。

この工事請負契約を締結したいので、地方自治法第96条第1項第5号及び八千代町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決をいただきたく提案したものであります。

以上、提案理由を申し上げます。慎重にご審議の上、原案にご賛同くださいますようお願い申し上げます。

議長（生井和巳君） これから質疑を行います。

14番、湯本直議員。

14番（湯本 直君） ちょうど新しい年度が始まろうとしている時期なのですが、この時期に臨時会を招集してやらなければならない状況に至った理由をひとつお聞かせを願いたい。

それから、これは、川西小学校は清水建設が落札して工事したと記憶していますが、

28年を経過しているという町長の説明だけれども、財源的には補助事業の関係があるのか。それから、持ち出しが一般財源でどのくらい出すのか、起債をどうするのかお聞かせ願いたいと思います。

以上です。

議長（生井和巳君） 総務課長。

（総務課長 生井光男君登壇）

総務課長（生井光男君） 14番、湯本議員の質疑にお答えいたします。

まず1点目でございますが、なぜこの時期に臨時議会をとというようなことでございますが、1月29日に入札を行いまして業者が決まったということでございますので、今年度の事業でありますので、速やかに臨時議会をお願いしたところでございます。

もう一点の財源的なことにつきましては、これにつきましては9月の議会でご承認をいただいているところでございます。国の関係のほうから4億5,761万7,000円、また町債については4億2,870万円、一応そのような財源を充ててやっていきたいというようなことで、9月の議会のほうで承認を得ているところでございます。

以上です。

議長（生井和巳君） あとありませんか。

（「執行調書先をお願いします」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） 3番、中山勝三議員。

3番（中山勝三君） 今総務課長のほうから財源についての説明もありましたが、それによりますと町の起債のほうで4億2,870万円ということで、約半々ぐらい交付金と起債ということになっているかと思うのですが、この議案第1号からちょっと3号まで関連することなのですが、私が前に一般質問したときに、その当時この交付金につきましては、特に地域活性化等もあったと思うのですが、臨時的なものも含めて、自主財源では約2割ぐらいの町の持ち出しでその当時できるような、そういう国の要するに制度になっていたかと思うのですが、その後1次補正の執行停止のこととか、あるいは事業仕分けですか、新政権になりましたの。そういうこともありまして、現在最高の起債を起こして、3つの議案ですと7億6,545万円という、この後審議されますけれども、そういうふうな予定になっておりますが、国からの交付金、町からの持ち出しの部分との兼ね合いといいますか、それは町の起こす起債について今後国のほうからの交付金なりそういうものがあるのかどうか。あれば、どのぐらいになるのか等お願いしたいと思いま

す。

議長（生井和巳君） 学校教育課長。

（教育次長兼学校教育課長 齊藤 実君登壇）

教育次長兼学校教育課長（齊藤 実君） 3番、中山議員のご質疑にお答え申し上げます。

起債関係につきましては、先ほど来、9月の時点で2億何がしというような金額を補正で上げさせていただきました。実際には入札を済みまして若干の減というような形にはなりますが、現在合わせますと、今の時点ですと、設計を含めると約3億3,000万円ほどに起債でなっておりますかと思っております。その中で交付税措置が6割ほど後年度にわたってというようなことございますので、総体的には80%から90%の中で、補助金を含めると補助になっておりますかと思っております。

以上でございます。

議長（生井和巳君） あと質疑ありますか。

12番、宮本直志議員。

12番（宮本直志君） 今の説明でちょっと。町の持ち出し分について国の補助があると。交付税でくれるのですか、これ。そうすると、今80%から90%と言ったのですけれども、これは確かな数字ではないのでしょうか。何でこれ、80%から90%というのはぴたっと決まっていないのですか。これ、ちょっとそこら辺あいまいな数字だと思うのだけれども、後でもらえなかったという場合もある。

議長（生井和巳君） 学校教育課長。

（教育次長兼学校教育課長 齊藤 実君登壇）

教育次長兼学校教育課長（齊藤 実君） では、宮本議員のご質問にお答え申し上げます。

学校教育課のほうで補助といたしまして国のほうに申請しておりますのが、安全・安心交付金というものがございます。これにつきましては、先ほど言いました設計を合わせると3億2,700万円ほどになります。さらには、企画財政のほうで担当しております交付金がございます。これは学校教育課の耐震ほか道路関係、あるいは一般の事業のほうに振り向けるというようなことで、学校教育課のほうに振り向けていただきますのが今の時点ですと約1億8,000万円、残りが起債というようなことになりまして、先ほど申し上げました3億3,000万円ほどというような形になっておりますので、この交付

金の振り分け次第で若干の変動があるというようなことで、先ほど8割から9割というようなお答えをさせていただきました。

補助金につきましては、両方、学校教育課あるいは企画財政担当の補助金がこのような金額で入ってくるかと思いますが、それによりまして起債の変動が若干あるというふうなことでございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

議長（生井和巳君） 12番、宮本直志議員。

12番（宮本直志君） 今のことはちょっとわかりましたが、この入札のほうで、これ執行調書を見ますと4件しか指名されていないのですけれども、金額が大きい割にちょっと何かおかしいのではないかと思うのだけれども、普通はもっと小さいのでも5社も6社もで入札させられるのに、これはたった4社しか入っていないということで、これはどうということなのですか、総務課長。

議長（生井和巳君） 総務課長。

（総務課長 生井光男君登壇）

総務課長（生井光男君） 12番、宮本議員の質疑にお答えいたします。

大きな事業の割には業者が少ないのではないかというようなことかと思ひますが、町のほうではこの入札につきましては、条件つき一般競争入札というようなことでこの内容を定めました。その中で、この条件の中で単体とか代表者、また構成員、そのような業者を決めていくわけでございますが、その中の項目の中に、建設業法に基づく本店が常総工事事務所管内に所在することとか、八千代町内に建設業法に基づく支店または営業所を所在する場合はというようなことがあります。あとは、単体の場合は経営総合評価値ですか、これが800点以上、また構成員、この場合は600点以上800点未満というような条件を付しているわけでございます。そうした中で町のほうで公告をした結果、希望業者が、ここにある、先ほど調書を配りました業者だったというようなことでございます。希望がそういう業者だったということでご理解していただきたいと思ひます。

以上です。

議長（生井和巳君） 12番、宮本直志議員。

12番（宮本直志君） 希望がこれだけしか。町のほうで指名したのでしょうか、これ。これだけしかなかったということなの、町の基準に合う業者が。そうですか。それならそれでわかるのだけれども。

議長（生井和巳君） 総務課長。

(総務課長 生井光男君登壇)

総務課長(生井光男君) 業者数は、単体もしくは親になる業者は6あります。また、これになり得る点数の条件については22社があつて、その中での希望がこの調書にあつた申し込みの業者だということでございます。

議長(生井和巳君) あとありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(生井和巳君) 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(生井和巳君) 討論なしと認めます。

これから議案第1号 21. 川西小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結について採決いたします。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(生井和巳君) 異議なしと認めます。

よつて、議案第1号 21. 川西小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結については、原案のとおり可決されました。

日程第4 議案第2号 21. 安静小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結について

議長(生井和巳君) 日程第4、議案第2号 21. 安静小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結についてを議題といたします。

職員に議案を朗読させます。

(総務課参事 水書正義君朗読)

議長(生井和巳君) 本案について提案理由の説明を求めます。

町長。

(町長 大久保 司君登壇)

町長(大久保 司君) ただいま上程されました議案第2号 21. 安静小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結についての提案理由をご説明申し上げます。

今回工事を実施するのは、安静小学校の校舎3棟のうち昭和46年に建築された2棟であり、鉄筋コンクリートづくりの2棟合わせて2,429平方メートルであります。平成2年度及び平成3年度に大規模改修を実施しておりますが、損耗や機能低下が見られ、危険性も危惧されております。

このたび、地震防災対策特別措置法の一部改正により、地震による倒壊の危険性が高い建物の改修について前倒しで実施するよう国からの指導もあり、平成20年度に耐震診断を実施したところ、補強が必要であるとの結果が出ました。また、平成21年度の国の経済対策により、安全・安心な学校づくり交付金及び公共投資臨時交付金の2つの財政支援制度が受けられることから、本工事を前倒しで実施するため9月の定例会において補正予算を計上し、議決をいただいたところであります。

事業の内容は、耐震補強工事のほか、屋根改修、外壁改修、内部改修、電気及び設備改修であります。設計は平成21年6月に委託し、工事につきましては条件つき一般競争入札により1月29日に入札を行い、その結果、高塚・宮本特定建設工事共同企業体が、消費税を加え2億4,045万円で落札いたしました。

工期につきましては、契約の日から平成22年3月31日までとしておりますが、県との協議により、平成22年度に繰り越して事業を実施する予定であります。

この工事請負契約を締結したいので、地方自治法第96条第1項第5号及び八千代町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決をいただきたく提案したものであります。

以上、提案理由を申し上げましたが、慎重にご審議の上、原案にご賛同くださいますようお願い申し上げます。

（「執行調書」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） 討論なしと認めます。

これから議案第2号 21. 安静小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結についてを採決いたします。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(生井和巳君) 異議なしと認めます。

よって、議案第2号 21. 安静小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結については、原案のとおり可決されました。

日程第5 議案第3号 21. 西豊田小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結について

議長(生井和巳君) 日程第5、議案第3号 21. 西豊田小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結についてを議題といたします。

職員に議案を朗読させます。

(総務課参事 水書正義君朗読)

議長(生井和巳君) 本案について提案理由の説明を求めます。

町長。

(町長 大久保 司君登壇)

町長(大久保 司君) ただいま上程されました議案第3号 21. 西豊田小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結についての提案理由をご説明申し上げます。

今回工事を実施するのは、西豊田小学校の校舎2棟のうち昭和48年に建築された1棟であり、鉄筋コンクリートづくりの2,711平方メートルであります。平成3年度及び平成6年度に大規模改修を実施しておりますが、損耗や機能低下が見られ、危険性も危惧されておりました。

このたび、地震防災対策特別措置法の一部改正により、安静小学校と同様に、地震による倒壊の危険性が高い建物の改修について前倒しで実施するよう国からの指導もあり、平成20年度に耐震診断を実施したところ、補強が必要であるとの結果が出ました。また、平成21年度の国の経済対策により、安全・安心な学校づくり交付金及び公共投資臨時交付金の2つの財政支援制度が受けられることから、本工事を前倒しで実施するため9月の定例会において補正予算を計上し、議決をいただいたところであります。

事業の内容は、耐震補強工事のほか、屋根改修、外壁改修、内部改修、電気及び設備

改修であります。設計は平成21年6月に委託し、工事につきましては条件つき一般競争入札により1月29日に入札を行い、その結果、高塚・常総特定建設工事共同企業体が、消費税を加え2億5,200万円で落札いたしました。

工期につきましては、契約の日から平成22年3月31日までとしておりますが、県との協議により、平成22年度に繰り越して事業を実施する予定であります。

この工事請負契約を締結したいので、地方自治法第96条第1項第5号及び八千代町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決をいただきたく、提案したものであります。

以上、提案理由を申し上げましたが、慎重にご審議の上、原案にご賛同くださいますようお願い申し上げます。

（「執行調書」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） これから質疑を行います。

10番、稲葉常美議員。

10番（稲葉常美君） この1号から議案3号まで見てみますと、22年の3月31日までの工事期間ということですが、これだけの大きな事業ということになりますと、学校の教育に支障を来さない時期というものは夏休み以外には考えられないというふうに感じますよね、今までの経過から見ますと。そういう中で同じ業者が2号、3号を落札したということは、努力して落札したということで理解はしますが、今までの執行部、また議員からの話し合いでは、一度落札した業者は次の入札には辞退するという経過があったと思うのですよね、暗黙のうちに。これは条例でも何でもないので、その辺を、指名委員長がどういう基準の中でこう2つの業者が落札されているのか。

また、落札した業者が同じような時期に、例えば夏休み時期に2つの事業ができるのかということがちょっと懸念されるわけですね。その辺はどういう考えの中で落札として認定したのか。また、そういう辞退をするように申し出ることが考えられなかったのかということが1点と、あと落札するに当たってほとんどが代理人が出てきて、2億円からのものが代理人を立ててやるということは、普通真剣味があるのか、ないのかということも一部では考えられるのですよね。これはいいとか悪いとかというのではなく、この事業に対して真剣に取り組む姿勢がこの業者にはあるのかというふうに考えられますが、代理はいいということですから、別にそれにはとやかく言うつもりはありませんが、せっかくのでかい事業、こういうご時世の中ででかい事業があれして、本人

が来て真剣に積算して入札に参加するという姿勢ぐらいはあってもいいのではないかと、こう思いますが、これらについて執行部の考え方をお聞かせ願いたいと思います。

議長（生井和巳君） 総務課長。

（総務課長 生井光男君登壇）

総務課長（生井光男君） 10番、稲葉議員の質疑にお答えいたします。

まず、これだけ大きな事業で工期が平成22年3月31日だというようなことで、事業がうまくいくのかというようなことでございますが、これにつきましては先ほど町長が言いましたように、県のほうの繰り越しの許可を得ているということで、議員さんがお話しありましたように、夏休みが大きな事業を実施する期間かと思えます。町といたしましても、この工事3本発注するに当たりましては、町の審査会ですか、副町長を長に、関係課長がその案を検討いたしまして発注したわけです。その中に、代表者とか単体になる業者については、大きな項目で9つぐらいあります。重要な項目が9つぐらいあります。その中では、先ほど言いましたように、総合評価値が800点以上だということとか、完成工事高が年間平均1億円以上。1億円ですから、結構大きい事業をやっているかと思えます。また、茨城県内において、国、県、市町村等が発注した建築一式工事を主とする工事で、公告の日から起算して過去10年以内に竣工し、かつ単体または代表構成員の立場で元請としての施工実績を有すること、あとは主任技術者及び管理技術者を専任で配置できるというようなことなどが挙げられます。

そういうことを考えまして審査した中で、もしこの業者が請け負っても大丈夫かというようなことになるわけですが、それについては公告をしまして、事前に申し込みがありました。それを再度その審査会の中で諮って、それでは問題ないでしょうというような事務的なレベルの総合的な判断に基づいて、その業者を入札に参加させることに決定いたしました。

ただ、議員さんからご指摘のように、そういう心配はしなかったのかということになりますと、これは当然お金を払って期間内に仕事をしてもらうわけでございますので、それは業者の方にそれなりの対応をしていただけるというようなことで確信して、事務のほうは進めてきたわけでございます。

代理につきましては、ここ今調書をお配りしましたが、社長さんがみずから来てくれる会社の中にはありますけれども、ほとんどが組織の中で動いておりますので、代理の人が多いというようなことでございます。

以上です。よろしくお願いします。

議長（生井和巳君） あと質疑ありますか。

（「落札したら、次の2回目は辞退するというのがあるが、指名委員長として一応その辺をどのようにとらえているのか」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） 総務課長。

総務課長（生井光男君） 一応調書を見ますと、高塚さんは代表で、構成員のほうについては3回目については常総ブロックさんというようなことで、2回目のほうについては高塚さんが代表者で、構成員のほうについては宮本さんというようなことで、その比率については30%というようなことでありますけれども、JVの中での全く同じ業者というようなことではないというようなことで解釈しております。

3枚目につきましては、鈴縫さんとのことについては、鈴縫さんのほうから辞退した経過がございますので、その調書のとおりでございます。

以上です。

議長（生井和巳君） 総務課長、言っているのが違うのだよ。2つとったというのは高塚さんだよ。それと、1つとって、2つ目は普通辞退するというのが以前も話していたという話なのだよ。

総務課長（生井光男君） 今辞退の話につきましては、私も課長十何年やって、総務課は3年なのですけれども、具体的にそのような事務の中での明記というのはちょっと確認したことはありませんので、ご報告したいと思います。

以上です。

議長（生井和巳君） 10番、稲葉常美議員。

10番（稲葉常美君） 若干確認なのですが、単体の場合は辞退するというので私も確認はしているのですが、ではJVを組んだときには、構成員が別な場合は、親は同じであっても、それは差し支えないという考えでいるわけですよ。そういう解釈でいいのでしょうか。だから、同じ時期でやっても、仕事の時期が同じ時期であっても差し支えないという考えでいるわけだよ。そういう考えでとっていいのですか。わかりました。

議長（生井和巳君） 13番、大久保敏夫議員。

13番（大久保敏夫君） ただいま1号、2号、3号の議案の中で、1号、2号は議決されてきているわけですが、3号の中まで提案されますと、指名業者というよりも、入札

希望業者が全部出そろった形での3号目になるわけですが、基本的には多分入札というのは1号議案から入札が随時なされたものだというふうに解釈はしているのですが、それでいいわけですね。

基本的に、先ほど総務課長のほうからありますと、いわば代表構成員の場合の資格というものが建築総合評価点数800点以上、加えてまた、それらに類する中で常総管内あるいはまた八千代における部分で幾つかの部分クリアしているものに参加し得る資格者というものは6社というふうに先ほどあったわけですが、これらについての部分でいきますと、今回4、4、6、今議題に上がっているのは6社なのですが、指名委員長にひとつお聞きしたいことは、これらの、先ほど宮本議員あたりからも出ました、2億円を超える物件について入札希望者が何社までであれば入札を続行させる、あるいは入札未了にする、そういうラインは引いてあったのか。たまたま今回4社なわけですが、では2社しか来なかった。それでも入札というものを正当化させるのか。1社であっても一つの流れの中で満たされるのか、それをひとつお聞きをしたい。

もう一点は、このメンバーの流れを見てみますと、仮に3つとも同じメンバーがとったとき、企業努力ですか、談合とかそういうことはないという理屈に基づいて一つの物事がなされているわけですから、これが例えば鈴縫代表構成員の場合に、あるいはまた違う角度からいけば、高塚代表構成員の場合に同じメンバーでとっていった場合にも、八千代町としては、すべて入札の適正化の企業努力においてであるから、それは認める、そういう解釈が成り立つのか、それが2点目であります。

もう一つは、私がちょっと疑問に思っていますのは、終わったことですからとやかく言う筋合いはありませんけれども、鈴縫代表構成員でとった企業体の部分というものがいわば川西小学校にあるわけですが、鈴縫代表と、それから高塚代表構成員が2と3をとった理屈になるのですが、そこに子である部分が、片方が、子であるメンバーが1社、両方の子に入っている。鈴縫のほうにも入っているし、次の入札のときに高塚の入札にも入っているというふうな組み合わせも、当然希望が出されたときに、指名でなくて、あくまでも入札希望でしょうから、そういうものは前もってわかるわけですから、そういうことも理解して、それもよしとして、代表がだれであろうが、どこへ行ってこようが構わない、あくまでも条件が満たされればいいのだという理屈になるのか。私は、一つの子である構成員が鈴縫にいて、また今度は、片側では今度高塚のほうへいて、1つはとったわけですが、そういうふうなことも理解して、この入札をよしとしたのかどう

か、それをお聞かせ願いたい。

先ほど稲葉議員からも出ていますように、私も若干勘違いしていて、議運なんかでも、同じ業者がとった場合にはおりるではないかということになりますけれども、ただ先ほど総務課長からも出たように、子が違くなってきますと別人格なのだというふうになりますと、それはそれである部分では理解しても、これはいいと思うのですが、私からすれば今言った3点です。ちょっとお聞かせを願いたい。

議長（生井和巳君） 副町長。

（副町長 澤木 薫君登壇）

副町長（澤木 薫君） ただいまの大久保議員の質疑にお答えしたいと思います。

まず、何社が応札すればその契約は成立するのかなというような件でございますが、町の一般競争入札の実施要綱でうたってございまして、3社で成立すると。2社までですと、これは未成立となりまして、3社以上で成立することになっております。

それと、あとJVで、先ほども頭が、親が同じ会社で、子供が別の会社だというようなことでジョイントを結んでいる場合が多くありますが、それにつきましても入札の要綱等につきましては、例えば今回3本ほど出ておりますが、その中で同業者が2本落札したとか、そういう場合も、特別要綱では1本とったらおりるのだよというようなあれはうたってはございません。そういうことで、入札につきましては落札業者が決定したというふうな経緯になっておりますので、ご理解いただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

議長（生井和巳君） あとありますか。

（何事か発言する者あり）

議長（生井和巳君） 副町長。

副町長（澤木 薫君） どうも済みませんでした。先ほどの、親が同じ業者で、子供がほかの業者というような、今回もジョイントを組んでいる中でございます。鈴縫、宮本さんにつきましては、3本目のこれ辞退されておりますが、構成員、親と子の関係でするので、特別規制はいたしておりません。そういうことで、今回の入札につきましても応札に認めているわけでございます。

やはり今までの、先ほど申し上げましたように、親が800点以上だよ、子供が600点以上だよというようなことで決まりがございまして。それと、先ほど総務課長からも言われましたように、年間の完成工事高、これは実質建築工事でございますので、建築工事の

完成工事高がない業者は参加できませんよというような規制をいたしております。そういうことで、子供と親の関係ですので、それらにつきましては特別こっちの親とくっついた、こっちの親と一緒にJVを結んだというような規制はしておりません。

以上でございます。

議長（生井和巳君） あとありますか。

13番、大久保敏夫議員。

13番（大久保敏夫君） それでは、もう一度確認をしておきたいと思います。

今回の場合は1号から3号までの議案で、審議されているのは3号議案でありますから、しかし連結性からいきますと聞いてもおかしくないのだろうという形で確認をさせてもらいたいですが、今回第1号議案で出たものは多分に第1回目の入札が行われたのだろうと、こういうふうに解釈しているのですが、それも総務課長に確認をしたいと思いますが、第1号議案が第1回目の入札の応札であったのかどうか。第2号議案が第2回目のいわば入札案件として開札されたのか。3号議案が第3回目として開札されたのかということになるわけですね。そうすると、違うとなるとまた話も違ってくるのですが、その場合に、第1号議案で、そのまま私の言っていることがそうだということになると、鈴縫・高島共同企業体がとったということになるわけですね。そうすると、第2号、第3号でもし応札をして、先ほど出ていますように、子は違う。八千代町の業者が子としての資格をもってして、八千代町の活性化と地域に金が落ちるといふ流れからいきますと、それが一番、それはそれでいいと思うのですが、代表構成員が1号で、今回の場合は鈴縫になっているわけですが、例えば高塚でやったり、あるいはまた塚田建材でやったり、鈴木鉄鋼であったり、染谷工務店であったり、下妻建設であったり、あるわけですね。その場合に、今回の場合はそのまま第1号議案が第1回目に入札の開札をしたと。そのときに、いわばたまたま今回は鈴縫がとった。第2回目も鈴縫がとった、第3回目も鈴縫がとったという可能性があったとしても、それは企業の、ここに資格をもってして応札をした業者の企業努力の中で勝ち得た結果であるから、町としてはそれは認める、そういう解釈でいいかということだけちょっとお聞きしたい。

議長（生井和巳君） 総務課長。

（総務課長 生井光男君登壇）

総務課長（生井光男君） 13番、大久保議員の質疑にお答えいたします。

順番につきましては、調書を配ったとおりに執行しております。

あと、その解釈については、私はちょっとコメント、業者側ではないですから、できません。

以上です。

議長（生井和巳君） 副町長。

（副町長 大久保 司君登壇）

副町長（澤木 薫君） 先ほど大久保議員ご指摘のように、鈴縫工業さん、高塚建設さん絡みの単体あるいはJVでの参加でございますが、町としては、先ほど申し上げましたように入札に対してのそこまでの規制はしておりませんので、3本ですか、今回入札に付しておりますが、それに、3本に参加できる可能性というか、そういうものはございます。そういうことでよろしくお願ひしたいと思います。

（「参加はできるけど、落とした場合にどういうふうになるのですか。同じ業者がね」と呼ぶ者あり）

副町長（澤木 薫君） 落札した場合のことですが、参加の条件ということで、まず主任技術者、そういったものを専任で配置できるというようなことがございます。ですから、落札した場合も、議会の承認を得られれば、それでもって契約できるということになりますので。ですから、技術者の問題なのです。ですから、当然条件付きの一般競争入札ですので、技術者が何名会社にはおりますよ、1級、2級何名おりますよというようなことで縛っておりますので、それについては専属で技術者を配置できれば大丈夫というふうなことでございます。

以上でございます。

議長（生井和巳君） 13番、大久保敏夫議員。

13番（大久保敏夫君） 大分指名委員長苦勞して答弁しているようなので、これ以上言うともたまたま血圧上がってきますので、私のほうからちょっと要望しておきますけれども、基本的には、前にもあるのです、現実には。指名競争入札でとったものは、落としたものは次のあれからはおりてもらいますというふうに、おりていって、そういういわば入札の仕方は現実にあるのです。要望とかそういうことではなくて、町の活性化の中で、いわば工区が4つも5つもあるときには、1つの業者がとったら、その業者は次からは入札に参加できない、おりてもらう、辞退してもらう、そういうふうなことでやった時期もあるのですが、現実、今回の場合に法的な部分とか、そういうものの解釈論からいけば、企業努力で3本落とせば、3本鈴縫がとろうが、高塚がとろうが、だれがとろうが、

それはいいのだろうと、そういう解釈になろうかと思います。ただしかし、ある部分の中においては、先ほど指名委員長が言われたように、議会なら議会で判断を求めなくてはならない。1本、2本とって、3本も、3つもとってしまって、夏休みに川西と安静と西豊田を一緒におまえらできるのか、そういう論議を議会に投げかけるようなおそれがあるときは、少なくとも2本とった業者は3本目は辞退してもらおうというふうな形で、私は八千代町独自の指名競争入札等にかかわる内規規定の中でやるべきであろうと。それが私は筋だと、そういうように考えますので、そういうことをも考えてほしいということを要望して、終わります。

議長（生井和巳君） 12番、宮本直志議員。

12番（宮本直志君） 1つだけ。先ほど課長が言いましたけれども、共同企業体ということで、大体7・3ぐらいではないかと。3割ぐらいは子がやるというような話ですけども、そういうものは一応町としては確認はしないのでしょうか、その3割という数字は。答えは1回でいいですから、例えば、おれっちは資格ないから、おまえ親やれよという場合だってあるわけだね。それで、確認すれば、子が親になって、親が子になっているなんていう場合だって世の中では幾らでもあるので、そういう確認というのもしているのかどうか、それだけ聞きたい。

議長（生井和巳君） 総務課長。

（総務課長 生井光男君登壇）

総務課長（生井光男君） 12番、宮本議員の質疑にお答えいたします。

その比、30%というのは、条件つき一般競争入札の公告の中に、これはメールや掲示板ですか、それに発表してあるわけですけども、出資比率を30%以上とするというようなことでありますので、お互いに了解していることかと思えます。

（何事か発言する者あり）

総務課長（生井光男君） これは互いに、町のほうでは30%以上ですよというような公告をしてありますので、それに基づいて当然行われていると解釈をしておるところです。

以上です。

（何事か発言する者あり）

議長（生井和巳君） 宮本さん言っているのはあれだね。これ、子が親の仕事というか、逆転した場合というの。

（何事か発言する者あり）

議長（生井和巳君） 総務課長。

（「議長、議長、宮本さんが聞きたいのは、入札して落とした後、1,000万だったら、それを損したとき、得したときも何対何だということを確認したいという話」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） 総務課長。

（何事か発言する者あり）

議長（生井和巳君） ちょっと、それでは暫時休憩します。

（午前10時28分）

議長（生井和巳君） 休憩前に戻り会議を再開いたします。

（午前10時40分）

議長（生井和巳君） 総務課長。

（総務課長 生井光男君登壇）

総務課長（生井光男君） 済みませんでした。先ほどの件でございますが、入札参加資格審査申請書の中で、構成員の出資割合というような協定書を事務局のほうで30%と70%ということを確認してあります。

以上です。

議長（生井和巳君） 質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） 討論なしと認めます。

これから議案第3号 21. 西豊田小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結についてを採決いたします。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） 異議なしと認めます。

よって、議案第3号 21. 西豊田小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の

締結については、原案のとおり可決されました。

日程第6 閉会中の継続調査の件

議長（生井和巳君） 日程第6、閉会中の継続調査の件を議題といたします。

本件につきましては、会議規則第75条の規定により、議会運営委員長から別紙のとおり報告がありましたので、委員長報告のとおり閉会中の継続調査と決定したいと思えます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） 異議なしと認めます。

よって、委員長報告のとおり閉会中の継続調査とすることに決定いたしました。

議長（生井和巳君） 以上で本臨時会に付議された案件はすべて議了いたしました。

これをもちまして、平成22年第1回八千代町議会臨時会を閉会といたします。

（午前10時42分）

地方自治法第123条の規定によりここに署名する。

議 長 生 井 和 巳

署 名 議 員 大 久 保 弘 子

署 名 議 員 上 野 政 男